

2024 年度事業報告書

II 2024 年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 教育理念

本校の基本理念は、真・善・美の全人教育すなわち、豊かな知性、感性、強い意思のある人間形成を形成し、「生命の尊さ」「人間愛」を育み、看護職への誇りと向上心を培う。専門職業人として現代医療や保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に対応し、社会に貢献できる有能な人材を育成する。

(2) 法人の沿革

平成 2 年 12 月 20 日	財団法人おもと会設立について沖縄県知事の認可
平成 3 年 12 月 25 日	厚生大臣より看護婦養成所の指定を受ける
平成 4 年 4 月 1 日	初代学校長 大 浜 方 栄 就任
平成 4 年 4 月 4 日	第 1 回入学式 入学生 56 名 (男 10 名 女 46 名)
平成 4 年 12 月 15 日	入学定員数変更 (100 名) について厚生大臣より認可
平成 5 年 4 月 3 日	第 2 回入学式 入学生 112 名 (男 33 名 女 79 名)
平成 10 年 4 月 1 日	第 2 代学校長 大 城 芳 枝 就任
平成 13 年 4 月 1 日	第 3 代学校長 後 原 榮 子 就任
平成 20 年 4 月 1 日	第 4 代学校長 小波津 豊 子 就任
平成 24 年 12 月 20 日	学校法人おもと会沖縄看護専門学校指定認可
平成 25 年 3 月 15 日	学校法人おもと会沖縄県知事認可
平成 25 年 4 月 1 日	学校法人に設置者変更し、現在に至る
平成 26 年 5 月 13 日	第 2 代理事長 石 井 和 博 就任
平成 28 年 4 月 1 日	第 5 代学校長 金 城 美智子 就任
令和 4 年 4 月 1 日	第 6 代学校長 翁 長 多代子 就任

(3) 設置する学校・課程・学科

学校名	課程名	学科名	開設年月
沖縄看護専門学校	看護専門課程	看護学科	平成 4 年 4 月

(4) 学生数の状況

令和 6 年 5 月 1 日現在

学 科	入学定員	現 員 数			
		1 年生	2 年生	3 年生	合 計
看 護	80	89 (1)	83 (1)	81 (5)	253 (7)

※ () 復学者数

(5) 役員の概要

役員の定数は理事 5 名以上、監事 2 名以上であり、実数は理事 6 名、監事 2 名である。

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	摘要
理事長	石井 和博	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
常務理事	石井 隆平	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
理事	翁長 多代子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
理事	田名 毅	2024年8月23日～2025年5月22日（任期：1年）
理事	平良 孝美	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
理事	大濱 京子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
監事	大浜 皓	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
監事	古堅 孔重	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）

(6) 評議員の概要

評議員の定数は12名以上であり、実数は13名である。

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	摘要
評議員	石井 隆平	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	大浜 敬子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	大濱 京子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	浦崎 修子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	仲田 洋子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	唐眞 弘安	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	入嵩西 一步	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	石垣 長彦	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	知念 弘	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	宮城 照代	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	小波津 豊子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	砂川 唱子	2023年5月23日～2025年5月22日（任期：2年）
評議員	栗國 美由紀	2024年5月23日～2025年5月22日（任期：1年）

(7) 教職員の概要

令和7年3月31日現在

区分	学校長	教員	職員	計
人数	1名	19名	5名	25名

2. 事業の概要

2024年度入学生定員確保に向けて、総合型選抜試験を導入し、さらに、一般選抜の科目から英語を除く2科目（国語必須・数学または生物選択）へ変更して対予算比65名増加した。県内医療看護系をめざす受験生が減少傾向にある中、今回の取り組みは効果があった。

新規事業・他の取り組みでは、おもと会の特長である5学科による多職種連携教育を実施した。お互いの職業理解、学園祭において合同体力測定ブースを設け実施し、来客者から好評であった。

2025（令和7）年4月1日施行の改正私立学校法に基づく寄附行為変更認可申請については、2025（令和7）年3月24日付で認可された。

教育目標に掲げていた項目に沿って主に取り組んだ事業について、以下のとおり報告する。

1) 教育の充実

教育理念・教育目的・教育目標を反映した教育課程を編成しており、厚生労働省の保健師助産師看護師指定規則を遵守している。

学校の教育力をはかる上で一つの指標となる「在校生の休学率、退学率」は専門学校では、休学率が約1.5%、退学率が約6.4%とされているが、退学者が6名とこれまでになく増加した。1年次からの学力低迷者の支援を行い、学生に寄り添ったきめ細やかな個別支援体制を再構築する。

2) 学生募集の取り組み

広報活動においては、ガイダンス参加が対前年比延べ63名増加、教員事務の協働によりオープンキャンパスでの対応も効果的であった。

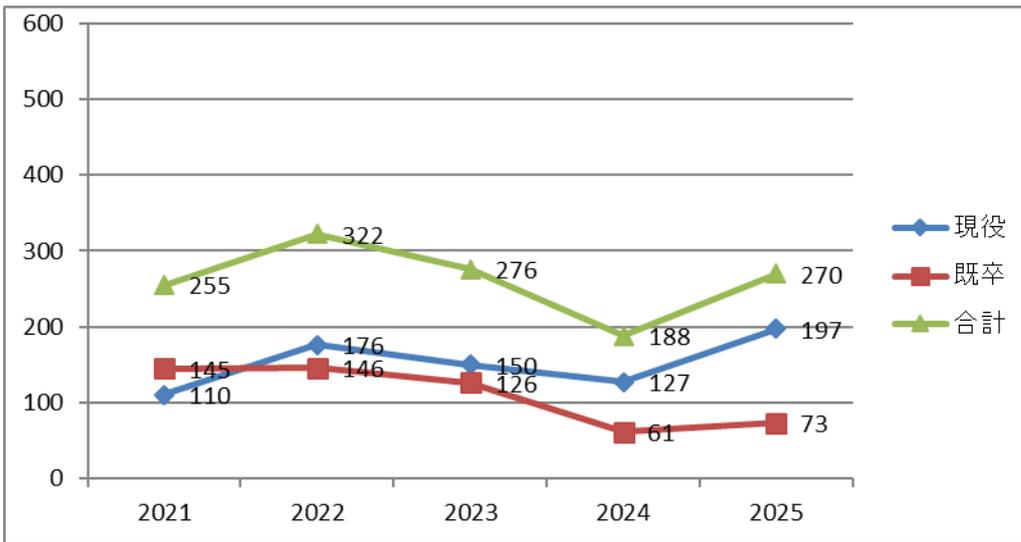
学生の定員充足率は、全国において大学・看護師3年課程ともに減少傾向にあり、2024年度は、大学97%、専門学校83%となっている。受験生に選ばれる学校作りが今後の課題となる。

○受験者数の状況は次のとおり。

区 分		募集人員	受験者数	入学者数	競争倍率
総合型選抜		40	95	40	2.4
推薦入試	指定校	10	10	10	1.0
	一般	10	18	10	1.8
	社会人	2	8	2	4.0
一般入試	前 期	14	104	14	7.4
	後 期	4	35	12	2.9
合 計		80	270	88	3.1

○5年間の受験者数推移

受験者内訳	現役	既卒	合計
2021	110	145	255
2022	176	146	322
2023	150	126	276
2024	127	61	188
2025	197	73	270



○2024 年度オープンキャンパス参加人数

	開催日	参加人数	2023
第1回	5月18日	79	106
第2回	6月15日	61	-
第3回	6月29日	11	-
第4回	7月20日	93	70
	7月月間	-	15
第5回	8月10日	17	6
第6回	8月16日	-	10
第7回	8月24日	72	48
	8月月間	2	-
	9月月間	12	55
第8回	10月月間	5	-
	11月間	-	1
第9回	2月月間	1	-
	3月月間	1	-
第10回	3月22日	47	42
合計		401	353

- ・オープンキャンパス開催以外での個別相談、受験生不合格者へのフォローアップ個別相談を実施し、受験生増加に繋がった。

3) 国家試験対策の取り組み

2024年度の国家試験合格率は92.3%で全国平均の95%を下回った。不合格になった学生は、12月に実施した全国模擬試験の結果がCまたはD判定であった。学力低迷者の学習環境を整える目的で12月から国家試験前日まで、土・日曜日の教室を開放、さらに教員を輪番で配置し試験対策に取り組んだが結果が及ばなかった。全学生の卒業を目標に取り組み、それは達成できたが国家試験合格には及ばなかった。また、学生指導に関して、一部の教員の負担の声も聞かれた。次年度は、国家試験合格プロジェ

クト委員を中心に、学力低迷者に対して、時期や方法などきめ細やかな個別指導を計画的に実施したい。学生個々の模擬試験結果を可視化・情報共有を行い、全教員が個々の学生の状況に応じた指導ができるよう教員の指導力アップに向けた情報交換会等も計画的に実施したい。

○看護師国家試験の状況

区 分	看護学科		
	受験者	合格者	合格率
2020 年度	84 名	84 名	100%
2021 年度	85 名	85 名	100%
2022 年度	84 名	79 名	94%
2023 年度	82 名	78 名	95.1%
2024 年度	78 名	72 名	92.3%

4) 就職支援の取り組み

看護師の需要が高く、多くの学生が第一希望または第二希望の施設に就職できた。学生は、教育システムが整備されキャリア形成ができる職場、奨学金が支給されている施設、臨地実習で好感を得られた施設を希望し、自主的に業者主催の就職説明会や病院主催のオープンハウスへ参加しながら就職に関する視野を広げ就職活動を行っている。

その中で、母体であるおもと会グループへの就職者が数名しかおらず課題として残った。病院側と連携を強化し就職に繋がるよう支援していきたい。今年度も引き続き、エントリーシートの記載、面接試験練習なども支援する予定である。

○求人状況及び就職状況

求人数		就職者数		進学・他
県 内	県 外	県 内	県 外	
628	3,630	46	22	4
4,258		68		

○2024 年度卒業生の主な就職先

就 職 先	(県内) 大浜第一病院、大浜第二病院、中頭病院、浦添総合病院、那覇市立病院、ハートライフ病院、沖縄リハビリテーションセンター病院、糸数病院 他
	(県外) 新松戸中央総合病院、東戸塚病院、横浜南共済病院、上尾中央総合病院、国立病院機構災害医療センター、九州大学病院、済生会横浜市南部病院 他

※おもと会への就職は、大浜第一病院0名、大浜第二病院2名。

5) 学生への支援

学年毎に4月から5月にかけて教員で分担し、学業に対する不安やアルバイトの状況確認など面談を実施している。必要に応じて教員間で情報共有を行い、個々の状況に応じたサポート体制を行った。ヘルスケアセンターとの連携も早めに対応できてい

る。休学・退学者はゼロにはならなかったが、目標値内には収めることはできた。
また、合理的配慮を必要とする学生もおり、きめ細やかな対応が必要となっている。

経済的支援については、当校独自の大浜方栄奨学金をはじめ、日本学生支援機構奨学金、沖縄県看護師等修学資金の支援調整を行った他、高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）の対象となる57名の学生へ経済的支援を行った。

6) 教職員の質の向上

教員の研修参加率は、時間の確保が難しく予定の半数程度の実施率となった。（臨地実習中の研修は厳しい）。学生の質を向上するには、教員の自己研鑽は必須であり、学習できる環境を検討していきたい。

7) 職業実践専門課程

2024年度は下記の日程で委員会を実施した。

委員会の開催日時

	学校関係者評価委員会	教育課程編成委員会	
		第1回	第2回
2024年度	2024年7月16日	2024年7月16日	2025年1月15日

8) 地域連携・地域貢献・地域参加

県内の小中高校における出前授業や学校見学等、希望があれば積極的な受け入れができた。地域の清掃活動は、学校オリジナルTシャツを着用して、職員と学生にて、学校周辺のゴミ拾いに取り組んだ。また、学園祭を通して、地域との交流の輪が広がるような活動ができた。

9) 施設設備の整備

老朽化している建築設備、2号館空調設備を更新した。また、コンピュータ室を普通教室へ用途変更して学習効果の向上に努めた。

I 財務の概要

2024年度収支予算は2024年3月9日開催の評議員会及び理事会において議決、その後2025年3月8日開催の評議員会及び理事会において収支補正予算を議決、それに基づいて執行した。

1. 2024年度事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に大別され、それぞれは、収入、支出、収支差額から構成される。

また、それぞれの収支差額の合計を「基本金組入前当年度収支差額」といい、これから「基本金組入額合計」を控除したものを「当年度収支差額」といい、学校法人の健全な運営には「基本金組入前当年度収支差額」の黒字はもとより、「当年度収支差額」の黒字化が望ましいとされている。

なお、「当年度収支差額」に「前年度繰越収支差額」を加えた額が「翌年度繰越収支差額」と称している。

「事業活動収支計算書」は民間企業における「損益計算書」に相当し、「教育活動収支差額」及び「教育活動外収支差額」の計を「経常収支差額」といい、「経常収支差額」は民間企業における経常損益に、「基本金組入前当年度収支差額」は「当年度損益」に相当する。

(教育活動収支)

主な収入は、学生生徒等納付金 232,179 千円、手数料 5,970 千円、寄付金 1,874 千円、補助金 53,148 千円、付随事業収入 8,852 千円、雑収入 1,636 千円、合計 303,661 千円となった。

主な支出は、人件費 156,428 千円、教育研究経費（減価償却額を含む）89,857 千円、管理経費（減価償却額を含む）33,824 千円、合計 280,110 千円となった。

この結果、教育活動収支差額 23,551 千円となった。

(教育活動外収支)

主な収入（受取利息等）から主な支出を控除した、教育活動外収支差額は 3,301 千円となった。

(経常収支)

この結果、教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は 26,853 千円となった。

(特別収支)

主な事業活動収入 0 千円から事業活動支出 1,212 千円を控除した、特別収支差額は △1,212 千円となった。

(基本金組入前当年度収支差額)

基本金組入前当年度収支差額（各収支差額の計）は、25,640 千円となった。

一方、基本金組入額は、△10,347 千円（第1号基本金・第4号基本金）、基本金組入額を控除した「当年度収支差額」は、15,293 千円となった。

当年度収支差額に前年度繰越収支差額 374,433 千円を加えた、翌年度繰越収支差額は、389,726 千円となった。

これらの結果、2024 年度における事業活動収入計は 308,759 千円、事業活動支出計は 283,118 千円となった。

2. 2024年度資金収支計算書

(資金収入)

主な資金収入は、学生生徒等納付金収入は入学者辞退者が当初予定より多く 232,179 千円で予算対比 300 千円増、手数料収入は 5,970 千円、寄付金収入は 1,874 千円、補助金収入は看護師等養成所運営補助金 26,597 千円に加えて、*看護師等養成所教育環境整備補助金 1,285 千円、私立専修学校職業教育等振興費補助金 1,848 千円、結核補助金 83 千円、私立専修学校授業料等減免事業補助金 23,335 千円の分を合計した 53,148 千円の地方公共団体補助金収入を計上した。

付随事業・収益事業収入において、補助活動収入は売店収入とその他収入 8,852 千円を計上、収益事業収入は 2 号館 1 階教室部分の賃貸借契約、自販機手数料等による 4,670 千円の分を計上した。

前受金収入は新年度分の授業料等の振込件数が予定より多く、66,947 千円と予算対比 23,496 千円の増となり、収入の部合計 680,538 千円と予算対比 21,361 千円の増となった。

※看護師等養成所教育環境整備補助金は、総事業費 250 万円を上限にその 8/10 を補助。

対象経費は、教育環境整備にかかる備品購入等。

※私立専修学校職業教育等振興費補助金は、平成29年度より実践的かつ専門的な教育を行う専修学校 専門課程（職業実践専門課程）へ助成制度が創設。

※私立専修学校授業料等減免事業補助金は、給付型奨学金の対象となった学生に入学金・授業料が免除または一部減額される支援制度。

(資金支出)

資金支出の主なもので、人件費支出は 150,086 千円で予算対比 1,485 千円の減、教育研究経費支出は教材費で予定していた購入支出と、またその他見込んでいた経費等の支出がなく 75,717 千円で予算対比 1,805 千円の減となった。

管理経費支出は広報活動に係る経費の内容変更があり費用が抑えられ 31,882 千円で予算対比 697 千円の減となった。

3. 2024年度貸借対照表

資産の部合計は、有形固定資産 246,006 千円、特定資産 457,345 千円、その他の固定資産 1,469 千円、流動資産 323,249 千円、資産の部合計は 1,028,071 千円で、前年度末に比べて 18,383 千円の増となった。

負債の部合計は、固定負債 47,234 千円（退職給付引当金）、流動負債 121,047 千円、負債の部合計は 168,282 千円で、前年度末に比べて△7,257 千円の減となった。

基本金の部合計は、470,062 千円で、前年度末に比べて 10,347 千円の増となった。

これらの結果、負債及び純資産の部合計は、資産の部と同額の 1,028,071 千円となった。